



会報



地域の力となり、その輪を広げよう

2010.10.23. 第943回例会 No.21-15 2010.10.27発行

創立20周年記念例会

《第1部：式典》 パルテノン小ホール 14:00～16:40

司会 幹事 菊池 敏

点鐘 会長 宮村 宏

国歌「君が代」斉唱

ロータリーソング 「奉仕の理想」
ソングリーダー 吉沢 洋景

ご来賓紹介 会長 宮村 宏

来賓 31名
留学生 3名

参加クラブ紹介 会長 宮村 宏

富士見RC、東京東村山RC、東京八王子RC
東京品川RC、東京神宮RC、東京飛火野RC
東京府中RC、東京調布RC、東京多摩RC
東京狛江RC、東京稲城RC、東京武蔵府中RC
東京たまがわRC、東京調布むらさきRC

歓迎挨拶 会長 宮村 宏

お忙しい中、沢山の皆様にご出席をいただき誠に有難うございます。

会長の宮村でございます。

東京多摩グリーンRCは、1990年9月5日東京多摩RCのスポンサーで創立されました。今年で20周年です。これもひとえにロータリアン、地域の皆様のご協力・ご支援の賜物と、心より感謝申し上げます。

9/24、車いすテニス世界チャンピオン国枝慎吾選手、齋田悟司選手を特別に招聘し、障がい者テニススクールを開催いたしました。落合中学校の生徒にも参加して頂きました。後程その時の映像を見て頂きたいと思っております。

合わせて、創立15周年記念に設立した少年少女合唱団のすばらしい合唱を皆様にお聴かせしたいと思っております。

この様に地域に根ざした色々な奉仕活動を今後も取り組んで行きたいと思っておりますのでご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

本日はご出席を頂き誠に有難うございました。



ご来賓ご祝辞

国際ロータリー第2750地区

ガバナー 辰野 克彦様

ご紹介を頂きました国際ロータリー第2750地区ガバナーを務めさせていただいております東京西RCの辰野でございます。

東京多摩グリーンRCの皆様、ご関係の皆様、本年創立20周年を迎えられ誠にめでたうございます。

現在、国際RCは、世界に123万人、3万4千クラブございます。地区は世界で531ございます。我々は、東京の南半分とグアム、サイパン、ミクロネシア等、パシフィックベースを含む地区として構成されています。本年度、その地区のガバナーを務めさせていただいております。

東京多摩グリーンRCにおかれましては歴代の会長をはじめ、皆様が心をこめて丁寧にクラブを育て上げてこられました。特に宮村会長、萩生田20周年実行委員長におかれましては、このご準備に大変だったと思っております。

設立された1990年は、世界ではベルリンの壁の崩壊からソ連の消滅に至る途上にあった変革の年でありました。

また、日本ではバブルの絶頂期から崩壊が始まる年でもありました。

そのような年に誕生され、その後の失われた 10~20 年、経済の低迷が続いていた時代でございましたが、その中で東京多摩グリーン R C の皆様は堅実に生き続けられて創立 20 周年を迎えられました。

この世の中で障害のある人もない人も、皆共に普通に過ごせるのがハッピーではないか。そのような理念の基で障がい者テニススクールを 8 年前から続けてこられ、この度 20 周年記念事業とされて世界のトッププレイヤーである国枝慎吾選手、齋田悟司選手を招聘され、お 2 人のトークショーが行われますことに心よりお喜びを申し上げます。

また更に、今の時代、子供たちに真・善・美・善意の姿を見せようという貴クラブの 15 周年事業として始められました多摩グリーンロタキッドクラブ「心の詩・少年少女合唱団」の成長の記録を 20 周年事業となされました。

この 2 つの事業は貴クラブの皆様の温かい心が伝わるようでございます。

このような感触を強く感じておりますことを申し上げます。私のお祝いの言葉とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございます

東京多摩 R C 会長	木村 尚昭様
多摩市長	阿部 裕行様
多摩商工会議所 専務理事	松浦 成業様
経過報告 創立 20 周年実行委員長	萩生田 茂夫



基調講演 : テーマ「障がい者テニス」
講師紹介 会長 宮村 宏

*活動経過報告・・・DVD 映写

*トークセッション

北京パラリンピック 金メダリスト 国枝 慎吾様

アテネパラリンピック金メダリスト 齋田 悟司様

司会進行：宮村会長

プロテニスプレイヤー宮村美紀選手

国枝選手：このような車いすによる講習会はあまりありませんが宮村会長をはじめ、貴クラブの皆様のご支援があって、こういった催しが何年も続いていることに私自身嬉しくなりましたし、今後も参加して行きたいと思っています。

齋田選手：実際参加させていただくまでは、自分に何ができるのかなど不安でしたが、一緒にやってみて子供たちも含め皆様とのテニスの楽しさを味

わえて非常に嬉しく思っています。

司会：ツアーで廻っていて荷物の移動が大変だと思いますが移動に関してのご苦労は・・・

国枝選手：大変なことは、普段用の車いすとテニス用と 2 台の車いすを運ばなければなりません。航空会社によって色々条件が違うので交渉事が大変です。

齋田選手：沢山の荷物を持って移動しますが、一度車いすの一部が壊れ、修理できずにベルギーでの試合に出場できなくて悔しい思いをしました。私たちにとって車いすは、身体の一部のレベルにまでなっています。簡単に借りてプレーするという訳にはいきません。梱包しても壊されてしまうことがあるので到着時荷物が出てくるまでドキドキです。



司会：ラケットを持って車いすを漕ぐ時はどのようにやっていますか。

国枝選手：ラケットを持たない手(普通左手)で漕いでいるように見えますが、両手で漕いでいます。特に右手の場合は 4 本の指でラケットを持ち親指で漕ぎます。タイヤを漕ぐ指は手の色も変わるし皮膚も固くなります。

司会：手を挟んだりしませんか

国枝選手：たまにあります。爪はボロボロになってしまいます。漕ぐ部分はアルミでできていますが、この部分に爪をあてて割れたり、指を引っかけて突き指もします。テーピングしたりして工夫しています。車を走らせたりとめたりで、怪我は常にあります。

夏の時期は車輪が熱くなり火傷もありうるので皮膚を固くしておかないといけません。

司会：私はシューズを 2 週間で交換しますがタイヤの交換は・・・

国枝選手：車いすは大車輪が 2、前後に小車輪が 1 個ずつあります。

大車輪は 1 ヶ月に 1 回自分達でチェンジします。小車輪はコートの状態に合わせて行います。

司会：試合で上半身をすごく使われますがどのようなトレーニングをされていますか

国枝選手：基本的には週 6 日トレーニングを行います。それに、フィットネストレーニングを 2 日位、コートでのダッシュ、チェアテクニクを磨いたり、10 km 週 3 回位走っています。体力的なトレーニングです。スタミナの向上のためです。

司会：メダルとトロフィーの紹介をして下さい。

国枝選手：このメダルは2年前の北京でのシングルの金メダルです。トロフィーは毎年世界チャンピオンに贈られるトロフィーです。フェデラーなどと同じです。2006,2007,2008と3年分あります。世界テニス連盟から頂いたものです。

齋田選手：アテネで国枝選手と組んだ時のダブルスの金メダルと北京のダブルスの銅メダルです。

司会：足を12歳の時、病気で切断されたのですが何かスポーツはされていたのですか。

齋田選手：大きな病気はしたことがなかったのですが当時地元の少年野球団に入って、将来プロ野球の選手になりたいという夢はありました。小学6年生の時左足の膝の上が痛くなり、精密検査の結果、骨肉腫であり切断しないと命も危ないということで切断せざるをえなかった。

その後、何かスポーツをしたくて探したところ、車いすバスケットを14歳から始めました。その頃車いすテニスが全国に普及し始め、その頃三重県四日市市に住んでいて、同市で車いすテニスの講習会をやって頂き、それがきっかけで始めました。

国枝選手：私は齋田選手を慕っています。テニスを始めたきっかけは、9歳の時腫瘍が脊髄にあり車いすになりました。11歳の時、母がテニスが好きだったため、私にも何かスポーツをやらせたいということからテニスを始めました。柏市の吉田記念テニス研修センターで15年前から一般テニススクールと同じように車いすテニススクールでそこに入ったのがきっかけでした。

齋田選手：自分は世界で8位ですし、まだまだこれから登り状態です。国枝選手の上達スピードが私を追い抜いて行った訳ですが、私も上に向かっていけると思っています。今まで自分より強い選手は海外にしかいなかったのですが、練習の仲間から強い選手が出てきたことはうれしいです。

司会：国枝選手は歩行のトレーニングをはじめられたようですが・・・

国枝選手：昨年の11月からトレーニングを始めました。そのきっかけは、階段が不便ということでした。ジムが東京の豊洲にあり通っています。17年間一度も出来なかった階段を、1年弱ですが手摺を掴めば歩行できるようになりました。

司会：どの大会が好きですか。

国枝選手：パラリンピックが一番注目をあびる大会です。全選手が全精力をかたむけてやってきます。パラリンピックが最重要です。

齋田選手：私もパラリンピックが一番大きな目標です。掛ける思いも一番強いですね。

司会：3種類のコートがありますがスピード感は、転倒したことは・・・

国枝選手：ハードコートが一番易しい。クレイコートはタン時コートを傷つけます。芝は重いので倍疲れれます。

齋田選手：ダブルスで接触しての転倒はありますが稀です。

司会：今まで車いすテニスをやってきて感動したことは・・・

国枝選手：高校3年まで何もやり遂げることがなかったがパラリンピック出場だとかで自分に誇れるものができた。生活していく中で自信というものにつながって行ったと思っています。車いすでテニスをやっていることは、凄いことではありません。車いすテニスを広めたいと思います。

齋田選手：子供の頃は特別な世界だと思っていたが今はテニスを通じて健常者と障害者のこの壁を取り払っていきたい。

司会：ここでご両名の所属されている吉田記念テニス研修センターの吉田理事長にお話をお伺いしたいと思います。

柏市から参りました吉田でございます。

国枝・齋田選手がこういう会で皆様に迎えられて嬉しく思っています。20周年記念式典本当におめでとうございます。当研修センターは、健常者が中心ですが、車いすの方も同時に来て下さいということで始めました。普段はご一緒しますが、車いすだから面倒をみるということはいたしません。彼らの頑張る姿を見て差別なく明るく一緒にやることができ皆さんに感謝しているところです。両選手は毎朝5:40に来て練習を何十年も続けておられます。お掃除の方は、毎朝4:30に来て、しっかり練習できるようにと、彼らの真直なチャレンジに対し力を引き出し、彼らの活躍を待っています。メダルやトロフィーを持ちかえると一緒に喜んでくれます。このような事が両選手の励みにもなっていると思います。人間力を出してきたこの様な選手がいるということは、我々にも大きな力を与えてくれます。両選手を北京に出す時、D.アンクインやドイツ等のトレーナーにやれるか否か指示を仰ぎました。両名はやれるとの結論に達し、4年間練習で調整を図りました。D.アンクインの指導は「ものの考え方」で毎日日記をつけさせるとか「良い所を延ばす」という指導でした。自分でジェスチャーも含めて励ますアクションと声を張上げることも指導の一つでした。このような成果が今日の両選手を強くしたのではないかと思います。



多摩グリーンロタキッドクラブ「心の詩・少年少女合唱団」(15周年記念事業)の成長報告



*活動経過報告・・・DVD映写

*コンサート

指揮 鈴木 直人
ピアノ 越前 佳織

寄付金贈呈 会長 宮村 宏

- *ロータリー財団に寄付
- *ポリオ撲滅運動に寄付
- *米山奨学会に寄付
- *多摩市社会福祉協議会に寄付

会員表彰 会長 宮村 宏

- *20年皆出席 海野榮一会員



今日は、良いことを教えていただきました。
 合唱団の企画もテニスの企画も見学に行っていて見ましたが、中学生の方々の玉拾い応援、また宮村会長のスクールのスタッフの皆様も応援されて、2企画とも地域に灯を灯すような大変良い企画であったと思いました。
 皆さんご存知だと思いますが、比叡山の開祖最澄上人の「一隅を照らす者は国の宝である」という言葉があります。自分がある持場持場、立場立場で一所懸命力を尽して明りを出していくのだ・・・。
 それが千の明りとなりまた万の明りとなって国を照らしていくのだと・・・。
 そういった印象を今日、強く感じました。
 今後の多摩グリーンRCの益々のご活躍とご発展をご祈念しご挨拶とさせていただきます。

閉会の辞 副会長 大松 誠二
 点鐘 会長 宮村 宏

乾杯 特別代表 由井 重光様



祝宴

《第2部：祝宴》京王プラザホテル多摩「白鳳」
 17：30～19：30

司会 SAA 萩生田政由 阿部 華歌

お客様紹介 会長 宮村 宏

警視庁多摩中央警察長 若林 龍二様

東京消防庁多摩消防署長 岩澤 昭一様

ロタキッドメンバー

開宴挨拶 会長 宮村 宏

ご来賓ご祝辞 多摩東グループガバナー補佐 岩倉 哲二様

皆様こんばんは
 東京調布RC所属の岩倉哲二でございます。
 今日、2時間半あっという間に過ぎた式典でございます。



感動ものでした。
 少年少女合唱団ロタキッドの皆さんには童心を思い出させていただき感謝します。
 国枝・齋田両選手のトークセッションで、物理的な設備を健常者と同じように動けるように整えて行くのだという面と、心の面でも大事なんだと・・・。両選手が最後に

述べられましたね。我々は健常者と違いはない。むしろ健常者が違った目で見ているのではないか。私はその壁を取り除いて行かなくてはいけないと・・・。

ご歓談

青少年交換学生：ジェシカと愛菜さんに
 インタビュータイム

閉会の辞 会長エレクト 小泉 博

手に手つないで ソングリーダー 菊池 敏

【 委員会報告 】

出席報告 出席奨励委員会

会員総数	38名
出席義務者数	32名
出席者数	出席義務者 26名
	出席義務免除者 6名
	事前MU 0名
	計 32名
出席率	32/38 = 84.21%

第941回例会(10/6)訂正出席率78.38%

創立20周年記念式典、祝賀会と大成功で終了しました。
 皆様お疲れ様でした。

尚、本日の記録はDVDに編集し、記念誌として発行される予定です。

(今週の担当： 山田 勲)